

2005年3月7日

株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町

2-5 F・Kビル

TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165

URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697

産業用特殊光源市場、一般照明市場調査を実施

- リアプロTV市場導入でプロジェクタ用光源市場は06年に1,600億円超(04年の1.8倍) -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 原 務 03-3664-5811)は、このほど、液晶バックライト用光源やプロジェクタ用光源など成長を続ける産業用特殊光源および一般照明市場の調査を実施した。その結果を「Special Appli.光源/照明市場実態・技術・予測 2005年版」にまとめた。

<調査結果の概要>

光源/照明市場は、2004年に8,267億円、2006年には9,896億円(04年比120%)と予測

ディスプレイ光源が全体の31%を占めている。なかでも、液晶バックライト(2004年市場規模1,521億円)やプロジェクタ光源(同899億円)が好調に推移し特殊光源市場の拡大を牽引している。今後も液晶テレビの大型化やプロジェクションTVの市場拡大に伴い、その主要光源であるCCFL、白色LED、超高圧水銀ランプの拡大が期待され、2006年はディスプレイ光源全体で3,813億円に達するとみられる。次いで、自動車用光源は、全体の約30%(2004年市場規模2,474億円)を占めており、近年の中国、中南米の自動車生産増大に伴って、2006年は2,579億円の市場に拡大する見通しである。そのほかに注目される特殊光源は、光化学反応用の紫外線光源で、液晶関連分野の旺盛な設備投資に伴って拡大基調にある。特に液晶基板洗浄装置向けの低圧水銀ランプや貼り合せ装置向けの高圧水銀ランプ、キセノンフラッシュランプが高い伸びを見せている。今後は、スポットキュアリング用途で、高圧水銀、水銀キセノンランプに代わって、紫外線LEDの組込需要が立ち上がると予測される。2006年は光化学反応用途全体で197億円(04年比119%)に達するとみられる。(キュアリング:反応硬化させること)

一般照明用途は、2004年に1,680億円に達しており、全体の約20%を占めている。国内の公共投資低迷から、公共施設向けのランプ需要が減少を続けているが、民間向けのリプレイス需要が安定している。テレビ放送のスタジオ演出照明や大型スーパー、百貨店向けの商業施設照明の需要が市場を下支えしている状況である。

<注目市場>

液晶バックライト用光源 2004年1,521億円 2006年2,052億円(04年比135%)

カラー液晶バックライトの光源として使用される冷陰極蛍光管(CCL)と白色LEDが対象で、液晶TV、LCDモニター、ノートPC、車載モニター用など向けのCCFL光源とカラー携帯電話用白色LED光源を捉えている。2003年は、カラー携帯電話の液晶バックライトに使用される白色LEDを中心に市場は拡大し、前年と比べ、数量ベースで2倍、金額ベースで1.8倍と大幅に拡大した。2004年は、大型液晶TVに使用されるCCFLの伸びが顕著となり、数量ベースで前年比143%、金額ベースで同135%と2003年ほどではないが拡大している。2005年は、携帯電話市場の頭打ちから成長は鈍化するが、液晶モニター、液晶TVなどの大型化・需要拡大に伴い、CCFLが液晶バックライト市場を牽引していく形となる。

プロジェクタ用光源 2004年899億円 2006年1,603億円(04年比178%)

プロジェクタに使用されるハロゲンランプ、メタルハライドランプ、超高圧水銀ランプ、キセノンランプを対象とし、対象光源の用途であるプロジェクタは、データプロジェクタ及びプロジェクションTVである。

メタルハライドランプは、プロジェクタが登場した当時の主要光源であった。色温度が低く、赤発光が豊富なため、色再現性に優れているが、点光源とは言えず、超高圧水銀ランプに比べてランプ発光効率が低いこともあり、現在は、プロジェクタ用としてはほとんど使われず、交換需要が主流となっている。

超高圧水銀ランプは、データプロジェクタ、プロジェクションTVなどで最も使用される光源である。国内における、廉価版プロジェクタの普及、中国・北米を中心としたプロジェクションTV市場の拡大により急拡大している。今後は、国内のプロジェクションTV市場の拡大がポイントとなる。

キセノンランプは、大光量で演色性に優れているため、主に映画館用プロジェクタで採用されている。業務用途が中心であるため、市場の大幅な動きはないが、ここ数年、大型複合映画館(シネコン)が注目されていることから潜在市場は大きい。また、ホームシアター用プロジェクタにも搭載され始めている。

2006年のワールドカップ開催、2008年の北京オリンピック開催に伴い、プロジェクションTV市場の

拡大が期待され、今後のプロジェクタ光源市場は、プロジェクションTV市場向けランプを中心に拡大していくと考えられる。

交通信号灯 2004年17億円 2006年37億円(04年比218%)

交通信号灯(車両用信号機、矢印用信号機、歩行者用信号機)に使用される光源で、信号機設置当初から採用されてきた白熱電球、2002年から設置され始めたLED(赤色、黄色、緑色)を対象としている。

LED式信号機は、電球式と比較して、ランニングコスト、視認性、メンテナンス、消費電力ともに電球式よりも優れている。2002年に、LED式車両用信号機が試験的に導入・採用され始めた。2003年から東京都、大阪府などの大都市を中心に本格的に導入されたことから、2003年のLED市場は、数量ベースで前年の4倍と大きく拡大している。また、2002年に、警察庁でLED式歩行者用信号機の仕様を決定しており、2003年以降、LED式歩行者用信号機が大幅に普及している。そのため、今後もLED市場は堅調に拡大していくものと考えられている。リプレイス需要が大半を占める白熱電球は、LED式信号機への置き換えから電球式信号機の設置数が減少するため、市場は減少していく。交通信号灯の2004年の市場規模は、数量ベースで3,246万個と前年比136%、金額ベースで16.6億円と大幅に市場は拡大している。今後も、LED式信号機の設置急増に伴い、LED光源を中心に市場は拡大し、2006年には8,000万個を超える見通しである。

<調査対象品目>

ディスプレイ用途	液晶バックライト、プロジェクタ光源、LEDディスプレイ光源
シグナル用途	交通信号灯、産業/業務用回転灯・信号灯、非常灯・誘導灯
センシング用途	赤外線センサ光源、産業用光センサ光源、バーコードリーダー光源
露光・画像処理用途	画像処理用光源、医療用光源、露光装置用光源
光化学反応用途	硬化・乾燥/接着用途、洗浄/表面改質用光源、水殺菌/空気殺菌用光源
自動車用光源	(ヘッドライト、リアコンビネーションランプ、フォグラмп、外装用LED)
一般照明	オフィス照明、店舗照明、施設照明、舞台照明・演出照明、屋外照明、住宅照明、ディスプレイ照明(パチンコ機、自動販売機、冷凍・冷蔵ショーケース) 機器・什器組込照明

<調査対象光源>

白熱電球、ハロゲンランプ、蛍光灯、冷陰極管(CCFL) 高圧/低圧ナトリウムランプ、メタルハライドランプ、キセノンランプ、紫外線CCFL、エキシマランプ、水銀キセノンランプ、LED、エキシマレーザー、その他

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業・関連団体等へのヒアリング及びオープンデータの活用

<調査期間>

2004年12月~2005年2月

以上

資料タイトル:「Special Appli.光源/照明市場実態・技術・予測 2005年版」
 体 裁 : A4判 293頁
 価 格 : 97,000円(税込み101,850円)
 調査・編集 : 富士経済 大阪マーケティング本部 第三事業部
 TEL:06-6228-2020(代) FAX:06-6228-2030
 発 行 所 : 株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル
 TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp
 この情報はホームページでもご覧いただけます。
 URL:http://www.group.fuji-keizai.co.jp